



瀬戸公園でもっと桜を楽しめるように ～瀬戸管理委員会が市に約1千万円を寄付

瀬戸管理委員会の依積田清守さん、板敷浅義さん、板元百合男さんが8月1日、市役所を訪れ、瀬戸公園を桜の名所にと、市に1千万円を寄付されました。

瀬戸公園は、板敷、中原、依積田集落が明治時代につくった競馬場を市が公園に整備したもので、それに伴う土地売却金を、3集落の元公民館長らでつくる同委員会が管理してきました。

この寄付金は、瀬戸公園東側の山林約8,400平方メートルの購入資金に充てて公園を拡大し、より壮観な桜公園になるように整備していく方針です。



親子のふれあいであったかいひととき ～『ほほえみ』がレクリエーションの集いを開催

肢体不自由児を抱える親の会『ほほえみ』（代表 森智恵美さん）が8月4日、市健康センターでレクリエーションの集いを開催しました。『ほほえみ』は、今年の7月7日に発足。会員が定期的に集まり、お互いの情報交換や同じ悩みを語り合いながら連携を深め、障害児（者）の方々の福祉向上を目指す目的で結成されました。

この日は、南薩養護学校の福山先生と宮内先生が、夏休みの研修活動の一環としてボランティアで指導育成に訪れ、歌遊びやボーリング遊び等で、親子のふれあいを通じた楽しい時間をすごしました。今後は、クリスマス会を開催していく予定です。

海外での貴重な体験をいきいきと報告 ～枕崎中生徒2人が県青少年国際協力体験事業の体験報告

鹿児島県青少年国際協力体験事業で、マレーシアを訪れていた藤野真登君と村田友香さんが8月11日、市役所で市長への報告を行いました。

2人は農村でのホームステイや青年海外協力隊の活動視察などで体験したことを報告。藤野君は「協力隊の様子を見て、様々な面で一生懸命頑張ろうと思った」、村田さんは「ホストファミリーとコミュニケーションをとるのが難しかったけど楽しくできた」と話していました。

2人は、ほかの県内の生徒たち10人と一緒に、7月22日から29日の日程で、マレーシアの半島部とボルネオ島を訪問しています。

▼現地の子どもたちと（写真右が藤野君 中央が村田さん）



障害者の就労の場として積年 ～枕崎福祉作業所が創立25周年

枕崎福祉作業所が創立25周年を迎え、記念行事が8月27日、市民会館で行われました。

枕崎福祉作業所は、昭和57年に本市の知的障害者をもつ親の会の方々が開所。以来、将来の就労に向けての訓練等の様々な活動を行い、自立への備えをするための場として、「枕崎市手をつなぐ親の会（現・NPO法人枕崎手をつなぐ育成会）」が主体となり運営されてきました。

この日は、関係者のあいさつのあと、伊集院の福祉作業所「樹園」の花木千鶴先生が「自立支援法と今後の課題」と題して、自身の体験を交えながら講演。ほかにもゲームなどのレクリエーションで和やかに楽しみました。



熱血指導で心技体を鍛えた錬成大会 ～鹿児島県（枕崎市）地方青少年剣道錬成大会

剣道錬成大会が8月23日から25日までの3日間、総合体育館で開催され、川辺地区の小・中学生や枕崎高校、水産高校など合わせて89名が参加しました。

この大会は、剣道に対する正しい理解を深めるとともに、心身の鍛錬、技能の向上や親睦を図るために開催されたもので、中央講師として加藤浩二範士八段や宮田秀昭教士八段が指導されました。

大会では、加藤範士八段による剣道理念についての講話のほか、実技では基本練習、対人的技能の練習などが行われ、参加者たちは熱心に取り組んでいました。



道路愛護の心で、通りを美しく

～8月10日「道の日」市街地の道路パトロール

8月は、全国一斉に「道路ふれあい月間」と定められています。その中で、8月10日は「道の日」に定められており、この日は市、国道指宿維持出張所、加世田土木事務所、警察署、消防署、商工会議所などの関係者が、市街地の幹線国道市道の道路パトロールを実施し、道路清掃・不法占用・看板などの指導・取締りを行いました。

市民の皆さんも、道路上（側溝・歩道を含む）に植栽のプランター・プロパンガスなどを置かないこと、また、垣根などが道路にはみ出さないようにせん定するなど、気をつけて道路愛護に努めて頂くをお願いします。



一面のコスモス畑を楽しみに種まき ～平門交差点付近にコスモスの植え付け

国道225号沿い平門交差点付近の田んぼ1畝に8月19日、コスモスの種が蒔かれました。これは、桜馬場地区村づくり委員会（今門求会長）の主催より5年前から行われ、遊休地などの拡大防止や地域おこし、観光資源の開発を目的としています。

参加したのはお年寄りから子どもまで約200人。米ぬかと砂にコスモスの種を加え混ぜ合わせたものを、参加者が田んぼごとに一列になって手で蒔いていました。10月下旬には満開のコスモスを楽しめそうです。



子どもたちが安全に走り回れる校庭に ～鹿児島県建設業協会加世田支部がボランティアで整備

鹿児島県建設業協会加世田支部（上東信義支部長・長野義哉枕崎地区代表）が8月22日・23日の2日間、桜山小学校、枕崎中学校、別府中学校の3校でボランティア作業を行いました。

この作業には、枕崎地区の会員10社45名が参加しました。重機などを使って、風雨で低くなった校庭に土を入れ、きれいに整地を行いました。

同支部は、これまで「道の日」や「海の日」の奉仕作業への参加などを行っています。加えて、子どもたちに喜んでもらおうと、学校での作業も行ったそうです。今後も取り組んでいきたいとのことでした。